

昭和60年度演習林年報

<https://doi.org/10.15017/18576>

出版情報：年報（九州大学農学部演習林年報）。1985, 1986-11-20. 九州大学農学部附属演習林
バージョン：
権利関係：



は し が き

演習林年報が、それまでの「研究経過報告」を発展的に解消して、新たに刊行されてから10年経過しました。

この間我が国の森林・林業をとりまく環境は従前にもまして厳しさを増してきています。最近では森林に対して自然保護，環境保全という立場より国民の強い関心がよせられています。

農学部附属施設としての大学演習林にたいしては大学演習林間の相互利用，とくに共同研究の推進が望まれ，また林学，林産学のみならず，ひろく諸分野の教育・研究の場として積極的に対応できるようにその整備・活用が求められています。

私共の演習林は長い年月にわたって教育・研究の場として活用され，多くの業績が蓄積されてきていますが，それについての理解は関係諸学科以外はきわめて薄いといわざるをえないのが現状です。このことについては演習林の関係者は狭い殻の中に閉じこもりがちであったという反省があります。いろいろな分野の方々に大学演習林についての理解を深めていただく必要があると痛感されます。

そのためにも年報のもつ役割は大きなものがあるといえます。

ここに昭和60年度に行われた研究成果，学生実習，一般業務の概要などについて報告し，さらにこの年報の充実のために皆様の一層のご理解とご批判，ご助言をお願いいたします。

1986年10月

研究部長 汰 木 達 郎